

2024年2月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 Z U U
代 表 者 名 代 表 取 締 役 富 田 和 成
(コード番号：4387 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 員 大 井 賢 治
(TEL. 03-4405-6102)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

業績の動向を踏まえ、2023年5月15日に発表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値の修正

2024年3月期通期連結業績予想修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,070 ～3,960	百万円 △170 ～410	百万円 △170 ～400	百万円 △170 ～230	円 銭 △35.79 ～48.42
今回修正予想（B）	2,800 ～3,250	50 ～350	51 ～351	△46 ～162	△9.68 ～34.11
増減額（B－A）	△270 ～△710	220 ～△60	221 ～△49	124 ～△68	
増減率（％）	△8.8 ～△17.9	－ ～△14.6	－ ～△12.3	－ ～△29.6	
（ご参考） 前期実績（2023年3月期）	3,399	210	209	90	18.96

2. 修正の理由

(1) 売上高

フィンテック・プラットフォーム領域においては、送客事業ではGoogleコアアルゴリズムアップデートの影響によりOrganic流入数が減少し、またオウンドメディア事業では新規大型案件の受注が低調であったことから、メディア関連売上が前回発表予想より減少する見通しです。

一方でフィンテック・トランザクション領域においては、融資型クラウド・ファンディングは順調に成立案件が続き、前連結会計年度に連結子会社化した株式会社ZUU Wealth Managementが主となり金融商品仲介業及び保険代理業が順調な伸びを示し、またその他の金融関連事業も順調に成長しました。これら金融事業の伸長が、広告宣伝費の抑制に伴うPDCAノウハウによるコンサルティングサービス「PDCA Engineering」の新規受注の伸び悩みによる減少を上回る見込であり、売上が前回発表予想より増加する見通しです。

これらの各領域での減少と増加を考慮し、また金融関連事業において追加の案件受注をする可能性もあることから、引き続きレンジでの開示とし、修正いたします。

(2) 営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

上記(1)の売上高の減少に伴う売上総利益の減少を主たる要因として、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のレンジ上限を修正いたします。

一方でコスト面では、広告宣伝費、人材採用費及び外注費の抑制に伴うコスト減少により、営業利益以下のレンジ下限を上回る見通しとなったため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のレンジ下限を修正いたします。

また、上記(1)の売上高を引き続きレンジでの開示とすることに伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益も同じくレンジ開示といたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。今後、変更すべき事象が生じた場合には速やかに発表いたします。

以 上